毎日のミサ

2026年11月9日（月）ー13日（金）

11月9日 月 ——祝日・白

ラテラノ教会の献堂

朗 祈 ラテラノ教会の献堂

コンスタンチヌス帝によってローマのラテラノに建てられた大聖堂の記念は、十二世紀からこの日に行われたと伝えられている。初めこの祝日は、ローマ司教区だけで祝われていたが、「ローマと世界のすべての教会堂の母であり頭」と呼ばれたこのラテラノ大聖堂をたたえるために、全世界のローマ典礼の教会で祝われるようになった。この祝日は、ペトロの座に対する一致と親愛のしるしである。

（『毎日の読書』より）

入祭の歌（歌わない場合は次の入祭唱を唱える）

入祭唱（詩編68・36）

力強い神よ、あなたは聖なる住まいにおられる。
神こそ民に力と勝利を授けられるかた。
神の名に賛美。

栄光の賛歌（グロリア）

集会祈願

いつくしみ深い神よ、あなたは年ごとに、ラテラノ教会の献堂を記念させてくださいます。あなたの家でいつも清いいけにえがささげられ、豊かな救いの恵みが与えられますように。聖霊による一致のうちに、あなたとともに神であり、世々とこしえに生き、治められる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

＊第一朗読は、エゼキエル書またはコリントの信徒への手紙一のどちらかを用いる。

第一朗読（エゼキエル47・1―2、8―9、12）

わたしは神殿から流れる水を見た。この水が流れて行くところの人はみな救われた（アンティフォナ「vidi aquam」）

エゼキエルの預言

〔その日、主の使いは〕わたしを神殿の入り口に連れ戻した。すると見よ、水が神殿の敷居の下から湧き上がって、東の方へ流れていた。神殿の正面は東に向いていた。水は祭壇の南側から出て神殿の南壁の下を流れていた。彼はわたしを北の門から外へ回らせ、東に向かう外の門に導いた。見よ、水は南壁から流れていた。彼はわたしに言った。「これらの水は東の地域へ流れ、アラバに下り、海、すなわち汚れた海に入って行く。すると、その水はきれいになる。川が流れて行く所ではどこでも、群がるすべての生き物は生き返り、魚も非常に多くなる。この水が流れる所では、水がきれいになるからである。この川が流れる所では、すべてのものが生き返る。川のほとり、その岸には、こちら側にもあちら側にも、あらゆる果樹が大きくなり、葉は枯れず、果実は絶えることなく、月ごとに実をつける。水が聖所から流れ出るからである。その果実は食用となり、葉は薬用となる。」

（または　一コリント3・9c―11、16―17）

あなたがたは神の神殿である

使徒パウロのコリントの教会への手紙

〔皆さん、〕あなたがたは神の建物なのです。わたしは、神からいただいた恵みによって、熟練した建築家のように土台を据えました。そして、他の人がその上に家を建てています。ただ、おのおの、どのように建てるかに注意すべきです。イエス・キリストという既に据えられている土台を無視して、だれもほかの土台を据えることはできません。あなたがたは、自分が神の神殿であり、神の霊が自分たちの内に住んでいることを知らないのですか。神の神殿を壊す者がいれば、神はその人を滅ぼされるでしょう。神の神殿は聖なるものだからです。あなたがたはその神殿なのです。

答唱詩編　典　102①②③（詩編84・2＋3、4、6＋7）

答　しあわせな人、神をおそれ、主の道を歩む者。
すべてを治められる神よ、
あなたの住まいはうるわしい。
わたしの魂は主の庭を慕い、
心とからだは生ける神にあこがれる。　答

万軍の主、わたしたちの神よ、
あなたの祭壇のきわに、
すずめさえすみかを見つけ、
つばめも巣を作ってひなをそだてる。　答

神よ、あなたによってふるいたち、
巡礼を志す人は、
かれた谷を通り、そこを泉に変え、
はじめの雨がそこを祝福でおおう。　答

アレルヤ唱　ア　560⑨（歴代誌下7・16）、
または典　276（ラテラン献堂）（終末週の旋律で）

アレルヤ、アレルヤ。この場所をわたしは選び、

聖なるものとした。ここにいつまでもわたしの名をとどめるために。アレルヤ、アレルヤ。

福音朗読（ヨハネ2・13―22）

イエスの言われる神殿とは、御自分の体のことであった

ヨハネによる福音

ユダヤ人の過越祭が近づいたので、イエスはエルサレムへ上って行かれた。そして、神殿の境内で牛や羊や鳩を売っている者たちと、座って両替をしている者たちを御覧になった。イエスは縄で鞭を作り、羊や牛をすべて境内から追い出し、両替人の金をまき散らし、その台を倒し、鳩を売る者たちに言われた。「このような物はここから運び出せ。わたしの父の家を商売の家としてはならない。」弟子たちは、「あなたの家を思う熱意がわたしを食い尽くす」と書いてあるのを思い出した。ユダヤ人たちはイエスに、「あなたは、こんなことをするからには、どんなしるしをわたしたちに見せるつもりか」と言った。イエスは答えて言われた。「この神殿を壊してみよ。三日で建て直してみせる。」それでユダヤ人たちは、「この神殿は建てるのに四十六年もかかったのに、あなたは三日で建て直すのか」と言った。イエスの言われる神殿とは、御自分の体のことだったのである。イエスが死者の中から復活されたとき、弟子たちは、イエスがこう言われたのを思い出し、聖書とイエスの語られた言葉とを信じた。

奉納祈願

救いの源である神よ、この供えものを受け入れてください。あなたの教会で祈りをささげる人々を秘跡によって力づけ、その願いを聞き入れてください。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

叙唱　教会献堂

聖なる父、全能永遠の神、いつもあなたをたたえ、心から感謝をささげます。

この祈りの家はあなたの住まい、ここに集まるわたしたちの上に、あなたは尽きることのない恵みを注ぎ、聖霊の神殿となさいます。また、あなたはキリストの花嫁である教会をいつくしみ深く育て、喜びに満ちた母として天の栄光に導かれます。

あなたをたたえるすべての天使、聖人とともに、わたしたちも賛美の歌をささげます。

拝領の歌（歌わない場合は次の拝領唱を唱える）

拝領唱（一コリント3・16―17）

わたしたちは神の住まい、神の霊がわたしたちのうちにおられる。聖なる神殿とはわたしたちのこと。

拝領祈願

聖なる父よ、あなたは教会が、天の都エルサレムの、目に見えるしるしとなるようお望みになりました。とうとい秘跡にあずかったわたしたちが、恵みに満たされて生きる者となり、あなたの栄光の住まいに入ることができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

11月10日 ― 火 ― 記念日・白

聖大レオ教皇教会博士

朗 年間第三十二火曜日（偶数年）

祈 聖大レオ教皇教会博士（入・拝）牧者〔教皇〕

イタリア中部のトスカナ地方に生まれた。四四〇年に教皇に選ばれ、よい牧者として、また信者たちの救霊のために尽くす父として活躍した。あらゆる手を尽くしてキリスト教の正しい教義を擁護し、教会の一致を保つために熱心に努めた。民族大移動で襲

ってくる諸部族の侵入をできるかぎり防ぎ、あるいは、少なくともそれを和らげるために力を注いだ。その功績から「大レオ」と呼ばれている。四六一年に死去。（『毎日の読書』より）

朗 シラ39・6―11、マタイ16・13―19

入祭の歌（歌わない場合は次の入祭唱を唱える）

入祭唱（シラ45・24参照）

神は、彼と平和の契約を結んで民の頭とし、永遠の大祭司の位を授けられた。

集会祈願

父である神よ、使徒のいわおの上に建てられた教会は、あなたに支えられて暗やみの力に打ち勝ちます。教皇聖レオの取り次ぎを求めるあなたの民を、真理と平和のうちにお守りください。聖霊による一致のうちに、あなたとともに神であり、世々とこしえに生き、治められる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

第一朗読（テトス2・1―8、11―14）

信心深く生活し、祝福に満ちた希望、神であり、わたしたちの救い主であるイエス・キリストの現れを待ち望むように

使徒パウロのテトスへの手紙

〔愛する者よ、〕あなたは、健全な教えに適うことを語りなさい。年老いた男には、節制し、品位を保ち、分別があり、信仰と愛と忍耐の点で健全であるように勧めなさい。同じように、年老いた女には、聖なる務めを果たす者にふさわしくふるまい、中傷せず、大酒のとりこにならず、善いことを教える者となるように勧めなさい。そうすれば、彼女たちは若い女を諭して、夫を愛し、子供を愛し、分別があり、貞潔で、家事にいそしみ、善良で、夫に従うようにさせることができます。これは、神の言葉が汚されないためです。同じように、万事につけ若い男には、思慮深くふるまうように勧めなさい。あなた自身、良い行いの模範となりなさい。教えるときには、清廉で品位を保

ち、非難の余地のない健全な言葉を語りなさい。そうすれば、敵対者は、わたしたちについて何の悪口も言うことができず、恥じ入るでしょう。

実に、すべての人々に救いをもたらす神の恵みが現れました。その恵みは、わたしたちが不信心と現世的な欲望を捨てて、この世で、思慮深く、正しく、信心深く生活するように教え、また、祝福に満ちた希望、すなわち偉大なる神であり、わたしたちの救い主であるイエス・キリストの栄光の現れを待ち望むように教えています。キリストがわたしたちのために御自身を献げられたのは、わたしたちをあらゆる不法から贖い出し、良い行いに熱心な民を御自分のものとして清めるためだったのです。

答唱詩編 典 166 ①⑤（詩編37・3、17b＋18b）

答 喜びに心をはずませ、救いの泉から水をくむ。
神により頼み、よいわざに励み、
約束の地を住まいとし、真実をかてとせよ。 答

神に従う人は神に支えられる。
彼らのゆずりはいつまでも続く。 答

アレルヤ唱 ア 560 ③（ヨハネ14・23）、
または 典 270（31B）（終末週の旋律で）

アレルヤ、アレルヤ。わたしを愛する人はわたしのことばを守る。わたしの父はその人を愛し、わたしたちはその人のもとに行く。アレルヤ、アレルヤ。

福音朗読（ルカ17・7―10）

わたしどもは取るに足りない僕です。しなければならないことをしただけです

ルカによる福音

〔そのとき、イエスは言われた。〕「あなたがた

のうちだれかに、畑を耕すか羊を飼うかする僕がいる場合、その僕が畑から帰って来たとき、『すぐ来て食事の席に着きなさい』と言う者がいるだろうか。むしろ、『夕食の用意をしてくれ。腰に帯を締め、わたしが食事を済ますまで給仕してくれ。お前はその後で食事をしなさい』と言うのではなかろうか。命じられたことを果たしたからといって、主人は僕に感謝するだろうか。あなたがたも同じことだ。自分に命じられたことをみな果たしたら、『わたしどもは取るに足りない僕です。しなければならないことをしただけです』と言いなさい。」

奉納祈願

聖なる父よ、この供えものを受け入れ、教会を照らしてください。神の民がすぐれた司牧者に恵まれ、力強く成長しますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

（巻末）

叙唱　牧者、または聖人（112―113ページ）

拝領の歌（歌わない場合は次の拝領唱を唱える）

拝領唱（ヨハネ10・11）

よい牧者は、羊のために自分のいのちを与える。

拝領祈願

全能永遠の神よ、聖なる食卓で養われたあなたの民を力強く導いてください。教会が自由を妨げられることなく、福音の教えを忠実に伝えることができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

11月11日 水 ——記念日・白

聖マルティノ（トゥールの）司教

朗 年間第三十二水曜日（偶数年）

祈 聖マルティノ（トゥールの）司教

三一六年頃、パンノニア（現在のハンガリー西部）地方で異教徒の家庭に生まれる。兵士になるが、洗礼を受けると兵役を辞し、フランスのリグジェー近郊に修道院を設立して修道生活に入り、聖ヒラリオの指導を仰いだ。やがて司教に叙階され、トゥールの司教に選ばれた。よい牧者としての模範を示し、多くの修道院を設立して聖職者たちを教育し、貧者に福音を伝えた。三九七年に死去。

（『毎日の読書』より）

朗 イザヤ61・1―3a、マタイ25・31―40

入祭の歌（歌わない場合は次の入祭唱を唱える）

入祭唱（サムエル上2・35）

神は仰せになる。「わたしの心と思いのとおりに行う忠実な祭司をわたしのために立てよう。」

集会祈願

信じる者の力である神よ、トゥールの司教聖マルティノは、生も死もみ手にゆだね、生涯を通してあなたの偉大さをたたえました。わたしたちの心を恵みで満たし、生涯、あなたの愛から離れることのないようにしてください。聖霊による一致のうちに、あなたとともに神であり、世々とこしえに生き、治められる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

第一朗読（テトス3・1―7）

わたしたちは道に迷っていた。しかし、神は御自分の憐れみによって、わたしたちを救ってくださった

使徒パウロのテトスへの手紙

〔愛する者よ、〕人々に、次のことを思い起こさせなさい。支配者や権威者に服し、これに従い、

すべての善い業を行う用意がなければならないこと、また、だれをもそしらず、争いを好まず、寛容で、すべての人に心から優しく接しなければならないことを。わたしたち自身もかつては、無分別で、不従順で、道に迷い、種々の情欲と快楽のとりことなり、悪意とねたみを抱いて暮らし、忌み嫌われ、憎み合っていたのです。しかし、わたしたちの救い主である神の慈しみと、人間に対する愛とが現れたときに、神は、わたしたちが行った義の業によってではなく、御自分の憐れみによって、わたしたちを救ってくださいました。この救いは、聖霊によって新しく生まれさせ、新たに造りかえる洗いを通して実現したのです。神は、わたしたちの救い主イエス・キリストを通して、この聖霊をわたしたちに豊かに注いでくださいました。こうしてわたしたちは、キリストの恵みによって義とされ、希望どおり永遠の命を受け継ぐ者とされたのです。

答唱詩編　典 123①④（詩編23・2＋3、6）

答　主はわれらの牧者、
　わたしは乏しいことがない。
神はわたしを緑のまきばに伏させ、
・いこいの水辺に伴われる。
・神はわたしを生き返らせ、
・いつくしみによって
　正しい道にみちびかれる。答

神の恵みといつくしみに
・生涯伴われ、
・わたしはとこしえに
・神の家に生きる。答

アレルヤ唱　ア 560④（一テサロニケ5・18）、
または典 273㊹（終末週の旋律で）

アレルヤ、アレルヤ。すべてについて感謝しなさ

い。神はキリスト・イエスのうちにあって、あなたがたにこれを望んでおられる。アレルヤ、アレルヤ。

福音朗読（ルカ17・11―19）

この外国人のほかに、神を賛美するために戻って来た者はいないのか

ルカによる福音

イエスはエルサレムへ上る途中、サマリアとガリラヤの間を通られた。ある村に入ると、重い皮膚病を患っている十人の人が出迎え、遠くの方に立ち止まったまま、声を張り上げて、「イエスさま、先生、どうか、わたしたちを憐れんでください」と言った。イエスは重い皮膚病を患っている人たちを見て、「祭司たちのところに行って、体を見せなさい」と言われた。彼らは、そこへ行く途中で清くされた。その中の一人は、自分がいやされたのを知って、大声で神を賛美しながら戻って来た。そして、イエスの足もとにひれ伏して感謝した。この人はサマリア人だった。そこで、イエスは言われた。「清くされたのは十人ではなかったか。ほかの九人はどこにいるのか。この外国人のほかに、神を賛美するために戻って来た者はいないのか。」それから、イエスはその人に言われた。「立ち上がって、行きなさい。あなたの信仰があなたを救った。」

奉納祈願

父である神よ、聖マルティノの祝日にささげる供えものをとうといものとしてください。人生の旅路の中で、この秘跡がいつもわたしたちの生きる力となりますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

（巻末）

叙唱　牧者、または聖人（117―118ページ）

拝領の歌（歌わない場合は次の拝領唱を唱える）

拝領唱（マタイ25・40）

わたしの兄弟の最も小さな者にしたことはわたしにしたのである。

拝領祈願

聖なる父よ、一致の秘跡にあずかったわたしたちに、いつもみ旨を行う力をお与えください。すべてをささげてキリストに仕えた聖マルティノにならい、わたしたちもあなたに従うことができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

11月12日 木 ——記念日・赤

聖ヨサファト司教殉教者

朗 年間第三十二木曜日（偶数年）

祈 聖ヨサファト司教殉教者（入・拝）牧者〔司教〕

一五八〇年頃、ウクライナのギリシャ正教の家庭に生まれる。カトリック教会に転じ、バジリオ修道会に入会した。司祭に叙階され、後にポロックの司教に選ばれ、教会一致のために大いに献身した。一六二三年、カトリックとの一致に反対した人々の手で殺害された。（『毎日の読書』より）

朗 エフェソ4・1―7、11―13、ヨハネ17・20―26

入祭の歌（歌わない場合は次の入祭唱を唱える）

入祭唱（サムエル上2・35）

神は仰せになる。「わたしの心にかない、思いのとおりに行う忠実な祭司を立てよう。」

集会祈願

天地を治められる神よ、ウクライナの司教聖ヨサファトは聖霊に満たされ、牧者として羊のためにいのちをささげました。聖人の取り次ぎを求めるわたしたちを聖霊によって強め、兄弟のためにいのちをささげるほどの愛で満たしてください。聖霊による一致のうちに、あなたとともに神であり、世々とこしえに生き、治められる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

第一朗読（フィレモン7―20）

もはや奴隷としてではなく、愛する兄弟として、彼（オネシモ）を自分のもとに置きなさい

使徒パウロのフィレモンへの手紙

兄弟よ、わたしはあなたの愛から大きな喜びと慰めを得ました。聖なる者たちの心があなたのお陰で元気づけられたからです。

それで、わたしは、あなたのなすべきことを、キリストの名によって遠慮なく命じてもよいのですが、むしろ愛に訴えてお願いします、年老いて、今はまた、キリスト・イエスの囚人となっている、このパウロが。監禁中にもうけたわたしの子オネシモのことで、頼みがあるのです。彼は、以前はあなたにとって役に立たない者でしたが、今は、あなたにもわたしにも役立つ者となっています。わたしの心であるオネシモを、あなたのもとに送り帰します。本当は、わたしのもとに引き止めて、福音のゆえに監禁されている間、あなたの代わりに仕えてもらってもよいと思ったのですが、あなたの承諾なしには何もしたくありません。それは、あなたのせっかくの善い行いが、強いられたかたちでなく、自発的になされるようにと思うからです。恐らく彼がしばらくあなたのもとから引き離されていたのは、あなたが彼をいつまでも自分のもとに置くためであったかもしれません。その場合、もはや奴隷としてではなく、奴隷以上の者、

つまり愛する兄弟としてです。オネシモは特にわたしにとってそうですが、あなたにとってはなおさらのこと、一人の人間としても、主を信じる者としても、愛する兄弟であるはずです。

だから、わたしを仲間と見なしてくれるのでしたら、オネシモをわたしと思って迎え入れてください。彼があなたに何か損害を与えたり、負債を負ったりしていたら、それはわたしの借りにしておいてください。わたしパウロが自筆で書いています。わたしが自分で支払いましょう。あなたがあなた自身を、わたしに負うていることは、よいとしましょう。そうです。兄弟よ、主によって、あなたから喜ばせてもらいたい。キリストによって、わたしの心を元気づけてください。

答唱詩編　典 19 ③④

（詩編146・6c＋7、8ac＋9bc）

答 いのちあるすべてのものは、神をたたえよ。
神はとこしえにまことをしめし、
貧しい人のためにさばきをおこない、
飢えかわく人にかてをめぐみ、
捕らわれびとを解放される。答

神は見えない人の目をひらき、
従う人をあいされる。
身寄りのない子どもとやもめをささえ、
逆らう者の企てを砕かれる。答

アレルヤ唱　ア 560 ⑤（ヨハネ15・5）、
または典 268（9A）（終末週の旋律で）

アレルヤ、アレルヤ。わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝。わたしのうちにとどまる者は多くの実を結ぶ。アレルヤ、アレルヤ。

福音朗読（ルカ17・20—25）

神の国はあなたがたの間にある

ルカによる福音

〔そのとき、〕ファリサイ派の人々が、神の国はいつ来るのかと尋ねたので、イエスは答えて言われた。「神の国は、見える形では来ない。『ここにある』『あそこにある』と言えるものでもない。実に、神の国はあなたがたの間にあるのだ。」それから、イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたが、人の子の日を一日だけでも見たいと望む時が来る。しかし、見ることはできないだろう。『見よ、あそこだ』『見よ、ここだ』と人々は言うだろうが、出て行ってはならない。また、その人々の後を追いかけてもいけない。稲妻がひらめいて、大空の端から端へと輝くように、人の子もその日に現れるからである。しかし、人の子はまず必ず、多くの苦しみを受け、今の時代の者たちから排斥されることになっている。」

奉納祈願

いつくしみ深い父よ、この供えものを祝福してください。聖ヨサファトがいのちをかけてあかしした信仰が、わたしたちのうちにも強められますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

叙唱　殉教者、または聖人（117—118ページ）

拝領の歌（歌わない場合は次の拝領唱を唱える）

拝領唱（ヨハネ10・10）

わたしが来たのは、彼らにいのちを与え、さらに豊かに与えるためである。

拝領祈願

父である神よ、主の食卓にあずかったわたしたちに、勇気と平和のたまものを注いでください。聖ヨサファトの模範にならい、わたしたちも教会一致のために尽くすことができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

11月13日 金 ——週日・緑

朗 年間第三十二金曜日（偶数年） 祈 年間週日㉒

入祭の歌（歌わない場合は次の入祭唱を唱える）

入祭唱（詩編50・3、4）

神は来られる。
天と地を呼び寄せ、民を裁かれる。

集会祈願

全能の神よ、あなたの支配に逆らう悪の力を滅ぼしてください。罪から解放されたわたしたちがあなたの国を待ち望み、正義を行う者となることができますように。聖霊による一致のうちに、あなたとともに神であり、世々とこしえに生き、治められる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

第一朗読（一ヨハネ4―9）

その教えにとどまっている人にこそ、御父も御子もおられる

使徒ヨハネの手紙

〔選ばれた婦人よ、〕あなたの子供たちの中に、わたしたちが御父から受けた掟どおりに、真理に歩んでいる人がいるのを知って、大変うれしく思いました。さて、婦人よ、あなたにお願いしたいことがあります。わたしが書くのは新しい掟ではなく、初めからわたしたちが持っていた掟、つまり互いに愛し合うという（巻末）　愛とは、御父の掟に従って歩むことであり、この掟とは、あなたがたが初めから聞いていたように、愛に歩むことです。このように書くのは、人を惑わす者が大勢世に出て来たからです。彼らは、イエス・キリストが肉となって来られたことを公に言い表そうとしません。こういう者は人を惑わす者、反キリストです。気をつけて、わたしたちが努力して得たものを失うことなく、豊かな報いを受けるよう

にしなさい。だれであろうと、キリストの教えを越えて、これにとどまらない者は、神に結ばれていません。その教えにとどまっている人にこそ、御父も御子もおられます。

答唱詩編 典 75①③

（詩編119・1＋2a＋3b、10＋11b＋108b）

答 神よ、あなたのことばは
わたしの足のともしび、わたしの道の光。
しあわせな人、道からそれず、
神の教えに従って歩む人。
そのさとしをとがなく守り、
神の道を歩む人。 答
あなたのすすめからそれないように、
心を尽くしてあなたを求める。
わたしは仰せを心にいだく。
あなたのさばきを示してください。 答

アレルヤ唱 ア 560⑥（ルカ21・28）、または典 274⑥

アレルヤ、アレルヤ。恐れずに頭を上げなさい。
あなたがたの救いは近づいている。アレルヤ、アレルヤ。

福音朗読（ルカ17・26―37）

人の子が現れる日

ルカによる福音

〔そのとき、イエスは弟子たちに言われた。〕
「ノアの時代にあったようなことが、人の子が現れるときにも起こるだろう。ノアが箱舟に入るその日まで、人々は食べたり飲んだり、めとったり嫁いだりしていたが、洪水が襲って来て、一人残らず滅ぼしてしまった。ロトの時代にも同じようなことが起こった。人々は食べたり飲んだり、買ったり売ったり、植えたり建てたりしていたが、

ロトがソドムから出て行ったその日に、火と硫黄が天から降ってきて、一人残らず滅ぼしてしまった。人の子が現れる日にも、同じことが起こる。その日には、屋上にいる者は、家の中に家財道具があっても、それを取り出そうとして下に降りてはならない。同じように、畑にいる者も帰ってはならない。ロトの妻のことを思い出しなさい。自分の命を生かそうと努める者は、それを失い、それを失う者は、かえって保つのである。言っておくが、その夜一つの寝室に二人の男が寝ていれば、一人は連れて行かれ、他の一人は残される。二人の女が一緒に臼をひいていれば、一人は連れて行かれ、他の一人は残される。」そこで弟子たちが、「主よ、それはどこで起こるのですか」と言った。イエスは言われた。「死体のある所には、はげ鷹も集まるものだ。」

奉納祈願

全能の神よ、わたしたちの祈りに耳を傾け、この供えものを受け入れてください。あなたをたたえて一人ひとりのささげるものが、すべての人の救いに役立つものとなりますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

叙唱　年間週日一―六（115―117ページ）

巻末

拝領の歌（歌わない場合は次の拝領唱を唱える）

拝領唱（マタイ25・34）

わたしの父に祝福された人たちよ、世の初めから、あなたがたのために備えられた国を継ぎなさい。

拝領祈願

神よ、救いの秘跡の力によってわたしたちを悪への傾きから解放し、正しい行いに導いてください。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

たちは、この世にあってすでに永遠のいのちを約束する聖霊を受け、死者のうちから復活されたイエスの神秘にあずかるよう招かれています。

あなたをたたえる天使とともに、聖霊の喜びのうちに、わたしたちも終わりなくほめ歌います。

年間主日　七

聖なる父、全能永遠の神、主キリストによっていつもあなたをたたえます。

あなたはわたしたちを愛し、ひとり子を救い主として世にお遣わしになりました。御子は罪のほかはすべてにおいてわたしたちと同じものになり、不従順によってわたしたちが失った恵みを、死に至るまでの従順によって新たにしてくださいました。

すべての天使はあなたの栄光をたたえ、わたしたちも声を合わせて感謝の賛歌をささげます。

年間主日　八

聖なる父、全能永遠の神、いつもあなたをたたえ、感謝の祈りをささげます。

あなたは罪のために散らされていた民を、御子の血によってあがない、聖霊のうちに一つに集めてくださいました。

キリストのからだ、聖霊の神殿となった教会は、父と子と聖霊の交わりにあずかり、天使の歌声に合わせてあなたの栄光をたたえます。

年間週日　一

聖なる父、全能永遠の神、いつどこでも主キリストによって賛美と感謝をささげることは、まことにとうとい大切な務め（です）。

あなたはキリストのうちにすべてを一つに集めることをお望みになり、その満ちあふれるいのちに、わたしたちをあずからせてくださいました。キリストは神の子でありながら自分をむなしくし、

十字架の血によってすべてに平和をもたらして、あらゆるものの上にあげられ、従うすべての者に永遠の救いをお与えになります。

神の威光をあがめ、権能を敬うすべての天使とともに、わたしたちもあなたの栄光を終わりなくほめ歌います。

年間週日　二

聖なる父、全能永遠の神、いつどこでも主キリストによって賛美と感謝をささげることは、まことにとうとい大切な務め（です）。

あなたは人を愛によって造り、正義に背いて罰せられた民を、あわれみにより主キリストを通してあがなってくださいました。

神の栄光をたたえ、権能を敬うすべての天使はともに喜び祝い、わたしたちもこれに合わせてつつしんでたたえます。

年間週日　三

聖なる父、全能永遠の神、あなたの偉大なわざをたたえ、いつも感謝をささげます。

あなたはみことばである御子によって人を造り、御子の死と復活を通して、新しい人としてくださいました。造られたすべてのものはあなたを賛美し、あがなわれた民は喜びにあふれ、救いのわざをたたえています。

わたしたちもすべての天使、聖人とともに、あなたの栄光を仰ぎ、感謝の賛歌をささげます。

年間週日　四

聖なる父、全能永遠の神、主キリストによって心からあなたをたたえ、感謝をささげます。

キリストの死を思うとき、愛は深められ、復活の信仰はわたしたちを支え、主の来臨の約束はわたしたちを希望で満たします。

あなたをたたえるすべての天使、聖人とともに、

声を合わせて賛美の歌を歌います。

年間週日　五（第二奉献文の叙唱）

聖なる父よ、最愛の子イエス・キリストを通して、いつどこでもあなたに感謝をささげることは、まことにとうとい大切な務め（です）。

あなたはみことばによってすべてをお造りになりました。みことばである御子は、救い主、あがない主としてわたしたちに遣わされ、聖霊によって人となり、おとめマリアから生まれ、み旨を果たして、人々をあなたの民とするために、手を広げて苦難に身をゆだね、死を滅ぼして復活をお知らせになりました。

わたしたちは声を合わせて歌います、天使とすべての聖人とともに、あなたの栄光をたたえて。

年間週日　六（第四奉献文の叙唱）

聖なる父、全能永遠の神、あなたの偉大なわざをたたえ、いつも感謝をささげます。

あなたは唯一のまことの神、初めもなく終わりもなく、すべてを越えて光り輝くかた。あふれる愛、いのちの泉、万物の造り主。造られたものは祝福され、光を受けて喜びに満たされます。

数知れない天使は昼も夜もあなたに仕え、栄光を仰ぎ見て絶え間なくほめたたえます。わたしたちはこれに声を合わせ、すべての造られたものも、ともにあなたをたたえて歌います。

聖人

聖なる父、全能永遠の神、聖人を通して示されたあなたの栄光をたたえ、感謝の祈りをささげます。

あなたは聖人たちの信仰のあかしによって、いつも教会に新しい力を注ぎ、限りない愛を示してくださいます。わたしたちもその模範に励まされ、取り次ぎの祈りに支えられ、信仰の歩みを続けま

す。

あなたをたたえるすべての天使、聖人とともに、喜びのうちに賛美の歌を歌います。

殉教者

聖なる父、全能永遠の神、主キリストによっていつもあなたをたたえ、感謝の祈りをささげます。

聖〇〇〇〇はあなたの恵みに強められ、いのちをささげて御子キリストをあかししました。弱い人間の中にあなたの偉大な力が示され、十字架の道を行く者の中に、人の知恵をはるかに越えるあなたの愛が輝き出ます。

み前で栄光をたたえる天使の声に合わせ、ここに集うわたしたちも感謝の賛歌を歌います。

牧者

聖なる父、全能永遠の神、主キリストによっていつもあなたをたたえ、心から感謝をささげます。

あなたは聖〇〇〇〇の信仰の模範によってわたしたちを励まし、その教えを通して導き、取り次ぎによって神の民を守られます。

あなたをたたえる天使と聖人の歌に声を合わせ、わたしたちも終わりなく感謝の賛歌を歌います。

ニケア・コンスタンチノープル信条

わたしは信じます。唯一の神、全能の父、
天と地、見えるもの、見えないもの、
　すべてのものの造り主を。
わたしは信じます。唯一の主イエス・キリストを。
主は神のひとり子、
すべてに先立って父より生まれ、
神よりの神、光よりの光、
　まことの神よりのまことの神、
造られることなく生まれ、父と一体。
すべては主によって造られました。
主は、わたしたち人類のため、
わたしたちの救いのために天からくだり、
（以下、「人となられました」まで一同は礼をする）
聖霊によって、おとめマリアよりからだを受け、
人となられました。
ポンティオ・ピラトのもとで、
　わたしたちのために十字架につけられ、
苦しみを受け、葬られ、
聖書にあるとおり三日目に復活し、
天に昇り、父の右の座に着いておられます。
主は、生者（せいしゃ）と死者を裁くために
　栄光のうちに再び来られます。
その国は終わることがありません。
わたしは信じます。
　主であり、いのちの与え主である聖霊を。
聖霊は、父と子から出て、
父と子とともに礼拝され、栄光を受け、
また預言者をとおして語られました。

わたしは、聖なる、普遍の、使徒的、唯一の
　教会を信じます。
罪のゆるしをもたらす唯一の洗礼を認め、
死者の復活と来世のいのちを待ち望みます。
アーメン。

使徒信条

天地の創造主、
全能の父である神を信じます。
父のひとり子、わたしたちの主
イエス・キリストを信じます。

（以下、「おとめマリアから生まれ」まで一同は礼をする）

主は聖霊によってやどり、
おとめマリアから生まれ、
ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、
十字架につけられて死に、葬られ、
陰府（よみ）に下り、
三日目に死者のうちから復活し、
天に昇って、
全能の父である神の右の座に着き、
生者（せいじゃ）と死者を裁くために来られます。
聖霊を信じ、
聖なる普遍の教会、
聖徒の交わり、
罪のゆるし、
からだの復活、
永遠のいのちを信じます。
アーメン。

二〇〇四年二月十八日
日本カトリック司教協議会認可

二〇〇四年二月の司教総会で口語訳に改訂された「ニケア・コンスタンチノープル信条」と、一部改訂された「使徒信条」です。ミサの信仰宣言には、この二つの信条が用いられるべきとされています。

氏名